

短さ 努力の証し

新座市立東野小6年
道中 晴葉 11（新座市）

わたしは、えんぴつが短くなるたびにうれしく思う。なぜなら、勉強をがんばった証こだと思ってるからだ。

読売新聞ひろば掲載
令和8年4月22日

でも以前のわたしは、そのようには考えてはいなかった。その考えが変わったのは、父がわたしの短くなったえんぴつを見てほめてくれたことがきっかけだ。なぜだろうとき問をいだいていたわたしは、父に質問をしてみた。すると父は「勉強をがんばった証こだから」と笑顔でほめてくれたのだ。その言葉がわたしの心に強くひびいたことは、今でもはっきりと覚えている。

それからのわたしは、父の言葉を思い出すたび、がんばろうという気持ちになっている。短くなってしまったえんぴつを捨てるのは悲しいけれど、また新しい一本が短くなるまで努力していこうと前向きな姿勢を大切にしていくつもりだ。